

## インターバンクの声（2013年3月29日）

やはり今の局面ではB級の指標扱いなのか、米国の新規失業保険申請件数、Q4のGDP、3月のシカゴ購買部協会景気指数の結果が、いずれも市場予想を下回ったものの、ドルが大きく売られるようなことはなかった。銀行再開時にパニックが起こることも想定されたキプロスも、大口預金者はとっくに現金の引き出しを済ませているのか、比較的平穏な状況だったようだ。

財政に苦しむ日本も10年後か20年後に、キプロスと同じような預金課税か預金封鎖かは分からないが、未来小説によく描かれるようなことが現実となった場合を想定しながら、銀行に殺到するキプロス預金者のテレビ画像を見てしまった。アベノミクス効果と期待から、株価も上昇、為替も円安、一部企業では久々の給与のアップすら聞こえてくる中、今から縁起でもないことを記事にするのはご法度のような風潮だが、政府・日銀の景気浮揚策が失敗するようだと、いよいよ日本の財政問題を避けて通ることが出来なくなるだろう。

来週から新年度、新学期が始まる時に、考えたくもないことを記してしまったことを反省しながら、日銀黒田新総裁の初会合が上首尾に行くことを願いたい。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。